

三条市実学系ものづくり大学開設検討委員会（第4回）

議事概要

- 1 開催日時 平成29年5月1日（月）15時00分～16時00分
- 2 場 所 三条市役所 本庁舎4階 第二委員会室
- 3 出席者 [委 員]（敬称略）
高橋（委員長）、兼古（副委員長）、シャハリアル、大湊、勝見の
各委員（5名）

[事務局]
大平総務部長、村上政策推進課長、坂田高等教育機関設置準備室長、
阿保主任、石田一般任用主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 報道機関 越後ジャーナル社、エヌ・シィ・ティ、建設速報社、
ケンオー・ドットコム、三條新聞社、新潟日報社、日本工業経済新聞社
- 6 配付資料
 - ・資料1 実学系ものづくり大学の開設に向けた施設整備概要
 - ・資料2 開設までの想定スケジュール
- 7 会議概要
 - (1) 開会
 - (2) 配付資料確認
 - (3) 議事
 - 冒頭、事務局から、配付資料に基づいて、「施設の概要」や「開設までの想定スケジュール」についての説明があった。
 - 各委員による意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ① 実習工場に入れる設備や機器などについて、この地域に必要とされる人材が身に付けるべき技術と相応するよう十分に検討する必要がある。
- ② この地域の産業振興ということがこの大学の大きな目標の一つでもあると思うので、地元産業界の意見を十分に聴いて施設設備の案を煮詰めていくとよい。
- ③ 大学に入れることが難しい実習設備の使用などを想定し、地域の事業所の協力を仰げるよう、連携体制を築いておく必要があるのではないか。
- ④ 海外のリージョナル・カレッジなどでは、卒業生の雇用を見越して、企業が実習機器を寄付するというような流れもあるようなので、参考にすべきではないか。
- ⑤ 地元と連携して学修を進めるという理念を建物にも反映していくため、コンセプトの段階から、この大学の特徴的な部分を全面的に出していくべきではないか。
- ⑥ 学生の通学手段や学生用駐車場のあり方は、大学の施設建設や雰囲気などにも大きく関わる部分であることから、十分に検討した方がよい。
- ⑦ 最近では、企業が事業所内に大学との共同研究スペースを設ける例などもある。この大学もそのような例を積極的に見習うべきではないか。

○ 事務局から次回以降の開催についての説明があった。

(4) 閉会

了